

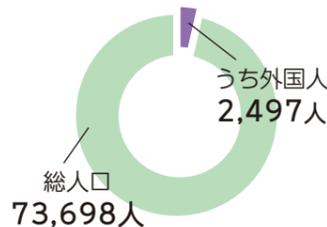


学習者と日本語パートナー（ボランティア）が、日本語で話しながら交流し、お互いの文化について理解を深めています。（日本語ひろば）

39の国と地域の人々が居住
上位3カ国（令和6年10月末現在）

-  ベトナム
827人 (33.12%)
-  フィリピン
376人 (15.06%)
-  タイ
360人 (14.42%)

外国人比率は3.4%に
（令和6年10月末現在）



令和6年10月末現在、市内在住の外国人は2,497人となり、市民30人あたり1人に相当。今や中津川市の製造業や介護などの分野を支えています。

一方、言語の壁をはじめ、依然としてさまざまな不安を抱き暮らしています。あなたなら共に生きる隣人となった外国人とどう関わりますか？

問 市民協働課 ☎内線325

参加したきっかけは
広報紙でボランティアの募集を見かけて、新しいことにチャレンジしてみたいと思って参加しました。

参加したきっかけは



意識が変わりました

外国人と接することで

日本語ひろばで 広がる輪

INTERVIEW

桂川 恵美さん

なかつがわ日本語ひろば
日本語パートナー

以前は「私とはあまり関わらない人たち」という感じで、苦手意識もあり、どう接したらいいかわかりませんでした。実際に教室で話してみると、学習者の人たちはみんな中津川を楽しもうとしてくれていて、同じ中津川市民なんだ、という印象に変わりました。

教室の雰囲気はどんなですか

学習者も「話したい」という気持ちで来てくれるし、日本語パートナーも「また来てほしい」という思いでやっているのでも、とても雰囲気が良いです。もっとたくさんの人に参加してもらえたらうれしいです。日本人の方にも、外国人と接することで意識が変わるといふのをぜひ体験してもらいたいです。



外国人に優しい

中津川の産業を支える外国人

INTERVIEW

クワンカシカム チャイユットさん

タイ出身、2004年来日
美濃工業株式会社
市多文化共生推進会議委員



環境を作りたい

生産技術部に所属し、お客さまから求められる製品の品質を確保するために、製造で使用する機械設備のマニュアルを日本語で作成しています。また、機械が十分な能力を備えているかをチェックするため、完成した製品の検査も行なっています。タイ人向けの講話などが開催される時には、通訳として携わっています。



来日から入社までの経緯は

18歳のとき、留学生として来日しました。日本語の知識はゼロの状態でしたが、東京の語学学校で勉強した後、愛知県内の大学に入学しました。在学中、美濃工業で働いていた友人からタイ人の実習生がたくさんいると聞き、自身も来日したときの経験を生かして、実習生や人の役に立ちたいと思い入社しました。

現在はどんな仕事をしていま

来日当時、困ったことはありませんか

タイではごみを細かく分別しなかったのが、ごみの捨て方に困りました。特に東京はごみの分別方法が細かく決められていたので、慣れるまでが大変でした。

後輩の外国人社員からどんな相談を受けることが多いですか

ごみの出し方や地震や事故にあったときどうするか、という質問が多いです。タイでは過去に大きな地震がないので、不安が大きいと思います。

社内外のタイ人でSNS（ソーシャルネットワークサービス）のグループを作り、災害の際は日本語の情報をタイ語に翻訳して伝えています。令和6年1月1日の能登半島地震の時には情報を発信しました。

今後の目標は

入社する外国人にとって優しい環境を、社内にもっと作りたいです。今も良い環境ですが、日本人と外国人がよりスムーズにコミュニケーションを取れるよう改善し続け、時代に応じて快適に仕事ができるようにすることが目標です。

日本語教室 なかつがわ日本語ひろば

中津川市では、外国人住民を対象に初級の日本語教室「なかつがわ日本語ひろば」を開催しています。

教室や講座の開催など、多文化共生に関する情報は右記の二次元コードからご覧ください。



外国人向け



日本人向け

今日からできる多文化共生 「やさしい日本語」で話そう！

普段使っている日本語を少し言い換えるだけで、外国人にもわかりやすく、情報を伝えることができます。

住所

住んでいるところ

進入禁止

入ってはいけません



詳しくはこちらから